

平成 30 年度事業報告

I. 総 括

少子高齢化社会等が要因により、家族の絆や地域における人と人とのつながりが希薄化していることから、改めて地域社会の連帯感を深め、誰もが安心・安全に暮らし続けられる地域づくりへの取り組みが必要とされています。

また、昨年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震により北海道全域がブラックアウトになった際には、町内会では、高齢者世帯等の安否確認や近隣による支え合い活動が行われるなど、町内会活動が有効に機能していたものと考えるところであります。この経験をもとに改めて日頃からの地域におけるつながりの大切さと、近年、自然災害が多く発生している状況を踏まえ、災害への備えの必要性を考えさせられる機会となりました。

このような中、本会では、砂川市から生活支援体制整備事業を受託し、今後この事業をとおして地域づくりを推進するための基礎資料とすべく、65 歳以上の方を対象に外出頻度や近隣との係わり、そして、高齢者が高齢者を支える仕組みづくりへの意識や状況を確認するためのアンケート調査を実施しました。

権利擁護事業においては、認知症高齢者の増加が推測されている中、これからの成年後見制度の担い手として期待されている市民後見人の養成講座を開催しました。

災害活動関係では、北海道社会福祉協議会との「災害救援活動の支援に関する協定」に基づき、北海道胆振東部地震で大きな被害を受けた、むかわ町の災害ボランティアセンター運営支援に職員を派遣したほか、その支援活動を活かし、本市における災害ボランティアセンター運営マニュアルを作成いたしました。

福祉センターの今後の在り方については、企画財政委員会においてこれからの考え方をまとめ、今後、理事会・評議員会での検討協議を進めていくこととしております。

本会事業執行にあたり、役員の方をはじめ、関係各位のご支援とご協力、市民の皆様のご理解とご参加により、円滑に事業が推進できましたことを心から厚くお礼申し上げます。以下、事業活動の概要についてご報告申し上げます。

II. 具体的事業の実施項目

1. 社会福祉事業の総合企画・推進

(1) 会務の運営

1) 会議の開催

① 正副会長会の開催

第 1 回 5 月 24 日 福祉センター

〔第 1 回理事会議案審査、砂川総合福祉センターの今後の在り方、社協の財源確保と各種事業の見直し他〕

第 2 回 8 月 17 日 福祉センター

〔第 2 回理事会議案審査他〕

第 3 回 1 月 4 日 福祉センター

〔理事選任団体の変更、識見を有する者の理事の選任、平成 31 年度新規事業の取組み、社協財源確保と事業の見直し〕

第 4 回 2 月 26 日 福祉センター

〔第 3 回理事会議案審査他〕

②理事会

第1回 6月11日 福祉センター

〔社協寄附金受付報告、平成29年度事業報告・決算、平成30年度会計第一次補正予算（案）、定款の一部改正、評議員選任・解任委員会委員の補選、欠員に伴う評議員候補者の推薦、平成30年度定時評議員会の開催〕

第2回 8月31日 福祉センター

〔社協第1四半期（4～6月）監査報告、会長の職務執行状況報告、社協寄附金受付報告、定款変更の認可報告、職員採用試験の実施、赤い羽根共同募金運動への協力依頼、砂川市市民後見人養成講座の開催、平成30年度敬老祝賀記念品贈呈事業の実施、評議員欠員に伴う候補者の推薦〕

第3回 3月12日 福祉センター

〔社協第2・3四半期監査報告、社協寄附金受付報告、会長の職務執行状況報告、砂川総合福祉センターの今後の在り方、公印規程の一部改正、平成30年度会計第二次補正予算（案）、平成31年度（2019年度）事業計画（案）・会計予算（案）、評議員欠員に伴う候補者の推薦、平成30年度臨時評議員会の開催〕

③評議員会

第1回 6月26日 福祉センター

〔評議員の変更報告、平成29年度事業報告・決算、平成30年度会計第一次補正予算（案）、定款の一部改正〕

第2回 3月28日 福祉センター

〔評議員の変更報告、平成30年度会計第二次補正予算（案）、平成31年度（2019年度）事業計画（案）・予算（案）〕

④各常設委員会

ア.企画財政委員会 2月26日 福祉センター

〔平成31年度（2019年度）委員会所管事業審査、福祉センターの今後の在り方〕

イ.地域福祉委員会 2月18日 福祉センター

〔平成31年度（2019年度）委員会所管事業審査〕

ウ.ボランティア委員会 2月18日 福祉センター

〔副委員長の互選、平成31年度（2019年度）委員会所管事業審査〕

エ.評議員選任・解任委員会

第1回 6月11日 福祉センター

〔評議員選任・解任委員交代報告、評議員欠員に伴う評議員候補者の選任〕

第2回 9月10日 福祉センター

〔評議員欠員に伴う評議員候補者の選任〕

第3回 3月12日 福祉センター

〔評議員欠員に伴う評議員候補者の選任〕

2) 監査の実施

①本会監事監査

第1回 5月21日 福祉センター

[平成29年度会計決算・業務執行(兼第4四半期)監査]

第2回 8月1日 福祉センター

[平成30年度第1四半期(4~6月)監査]

第3回 10月30日 福祉センター

[平成30年度第2四半期(7~9月)監査]

第4回 2月4日 福祉センター

[平成30年度第3四半期(10~12月)監査]

②砂川市法人運営指導監査 2月20日 福祉センター

(2) 各関係機関との連絡調整並びに役職員の資質向上

1) 各関係会議・研修等への参加

[別添平成30年度主な会議・事業等一覧参照]

2) 社協役員研修会の開催

理事・監事・評議員による研修の実施

○役員研修

・実施日 8月9日

・場所 美唄市

・参加者 18名

・内容 平成30年度「地域の絆と支え合い活動」空知地区推進セミナーへの参加

・行政説明「第7期北海道高齢者保健福祉計画

・介護保険事業支援計画の概要」

北海道空知総合振興局保健環境部社会福祉課主査 佐藤光司氏

・実践発表①「つながり合い、支え合う援助の力を高めるために」

奈井江町社会福祉協議会事務局長 末吉広樹氏

・実践発表②「高齢者の足の確保について」

沼田町社会福祉協議会事務局長 篠原 毅氏

・講演「地域の“絆”で安心して暮らせる福祉で

まちづくりを目指して」

鷹栖町社会福祉協議会事務局長 梅澤美幸氏

(3) 広報啓発活動

1) 広報紙「すながわ社協だより」の発行

①広報紙発行：年4回(7月・10月・1月・3月)

②福祉年賀広告の募集、掲載(93団体・97枠)

2) ホームページの運営・管理

3) 出前講座の実施

- ・ 5月 23日 ケア・カフェすながわ実行委員会「お金に係る福祉制度等」〔工藤主任〕
- ・ 7月 13日 新町町内会いきいきサロン「レクリエーション指導」〔中村係長〕
- ・ 8月 2日 北海道労働金庫砂川出張所「成年後見制度について」〔工藤主任〕
- ・ 10月 27日 新日の出町内会福祉交流会「レクリエーション指導」〔中村係長〕
- ・ 11月 28、12月 7日 中央小4年生福祉授業「講義・車いす体験」〔中村係長・天坂職員〕
- ・ 2月 7・19日 豊沼小4年生福祉授業「講義・車いす体験」〔中村係長・天坂職員〕
- ・ 2月 27日、3月 6日 空知太小4年生福祉授業「講義・車いす体験」〔中村係長・天坂職員〕

4) 各報道機関との連携 各種事業の記事掲載を依頼

(4) 顕彰の実施

- 1) 北海道社会福祉協議会会長表彰の受賞
平井千代美氏（民生・児童委員功労）
- 2) 全国社会福祉協議会会長表彰の受賞
林 桂子氏（民生・児童委員功労）

(5) 社協創立 70 周年記念事業準備

- 1) 社協創立 50 周年以降の記録の整理

(6) 財政基盤の強化

- 1) 一般会員会費の協力依頼（納入世帯；6,580 世帯）
- 2) 国・道及び市補助金の確保（国・道補助金該当事業なし）
- 3) 北海道社会福祉協議会等関係機関の助成金の活用（該当事業なし）
- 4) 本会事業基金積立金の運用
* 第 425 回大阪府公募公債〔償還日；平成 39 年 10 月 29 日〕
* 農協定期貯金
- 5) 本会退職積立金の運用
* 独立行政法人勤労者退職金共済機構中小企業退職金共済制度の活用
* 一般社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会への加入
* 北海道銀行定期預金、農協定期貯金、空知商工信用組合定期預金
- 6) 共同募金助成金の確保（赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金）
- 7) 愛の小箱募金箱の設置 市内 7 か所に設置（実績額；2 か所 10,213 円）

(7) その他

- 1) 役職員の活動等への保険の（社協の保険）加入
補償内容；役職員の業務遂行上による第三者への損害賠償補償及び傷害・感染補償、
個人情報漏えい対応補償他
- 2) 火災被災世帯への見舞金の贈呈 3 件
- 3) 北海道社会福祉協議会との「災害救援活動の支援に関する協定」の締結及び活動
北海道胆振東部地震「むかわ町災害ボランティアセンター」への職員派遣
・ 9月 17～19日〔中村係長〕、9月 23～25日〔阿部局長〕

- 4) 福祉活動車両の管理運行
 - 1号車〔ニッサンクリッパーバン；福祉活動車両〕
 - ・30年度走行距離数 3,968km（平成21年4月16日購入）
 - ・延走行距離 72,471km
 - 2号車〔ニッサンウイングロード；福祉活動車両〕
 - ・30年度走行距離数 4,452km（平成24年4月26日購入）
 - ・延走行距離 31,749km
 - 3号車〔ダイハツミライース；居宅介護支援事業車両〕
 - ・30年度走行距離数 5,092km（平成25年10月31日購入）
 - ・延走行距離 25,141km
- 5) 事務局業務の効率化の推進
 - ①インターネットバンク活用による経理事務効率化
 - ②財務等システムの活用による事務効率化
- 6) 職員採用試験の実施
 - ①第1次試験 9月16日 福祉センター 3名受験
 - ②第2次試験 10月22日 福祉センター 2名受験（内採用1名）

2. 砂川総合福祉センターの管理・運営

(1) 施設の適正管理

- 1) 各専門資格取得者の配置等による施設の適正管理
 - ①甲種防火管理者〔阿部局長〕、危険物取扱者〔工藤主任〕、特別管理産業廃棄物管理責任者〔阿部局長〕の配置
 - ②防災研修会の実施（年1回） 6月11日
 - ③消防訓練の実施（年2回）
 - ・10月15日〔総合訓練（市総合消防訓練と合同）〕
 - ・3月15日〔避難訓練・通報訓練〕
- 2) 施設管理運営業務の委託（公益社団法人砂川市シルバー人材センター）
- 3) 施設付帯設備等の点検・検査等の実施
 - ①防火対象物定期点検 9月10日
 - ②消防用設備等保守点検（年2回）
 - ・総合点検 9月21日 ・機器点検 3月29日
 - ③自家用電気工作物保安管理（年4回）
 - ・保安点検 5月8日、8月14日、11月12日、2月4日
 - ④ボイラー保守整備（年3回）
 - ・整備点検 11月17日 ・保守点検 12月6日、2月28日
 - ⑤消防立ち入り検査（実施なし）
 - ⑥職員による日常点検（常時実施）
 - ⑦アスベスト空気中濃度定期測定 1月16日
- 4) 施設修繕及び備品整備（主な修繕等）
 - ①ボイラー真空給水ポンプ等修繕

(2) 貸館の実施

1) 福祉センター利用状況（詳細は、別紙月別利用状況表）

○有料団体利用件数 28 件〔利用人数 1,840 人〕

○減免団体利用件数 229 件〔利用人数 5,683 人〕

〔内訳〕・一部減免団体利用件数 103 件〔利用人数 1,839 人〕

・全額減免団体利用件数 126 件〔利用人数 3,844 人〕

2) 入居団体等との連絡調整

①公益社団法人砂川市シルバー人材センター

②中央老人クラブ

(3) 総合福祉センターの今後の在り方について

企画財政員会での検討結果を理事会に報告。今後、理事会及び評議員会で検討協議を進める。

3. 高齢者福祉の推進

(1) 敬老祝賀記念品贈呈事業

白寿、米寿の方へ祝品等を贈呈 165 名（白寿 9 名、米寿 156 名）

(2) 第 45 回高齢者芸能交流大会の開催〔砂川市老人クラブ連合会共催事業〕

・ 7 月 24 日 交流センター 232 名（クラブ参加者）

・ 第 1 回実行委員会 5 月 31 日 福祉センター

・ 第 2 回実行委員会 7 月 6 日 福祉センター

・ 出演者リハーサル 7 月 17 日 交流センター

(3) 年末特別給食サービス事業の廃止

年度計画どおり事業を廃止

(4) 高齢者団体等への支援

1) 砂川市老人クラブ連合会への支援・助成

2) NPO 法人中空知・地域で認知症を支える会への協力

3) 砂川市認知症を抱える家族の会「ひだまりの会」への支援・助成

4) その他団体等への支援

・ 高齢者軽スポーツフェスティバルへの協力（9 月 26 日）

4. 在宅福祉の推進

(1) 砂川市紙オムツ利用券交付事業（市受託事業）

在宅で介護保険等の認定を受けている寝たきり高齢者、認知症高齢者等で、常時紙オムツを使用する方に紙オムツ利用券を交付。

〔利用者 1 割負担、市内指定業者で月額 5,000 円分の紙オムツを購入〕

*利用券交付者数 77 名 *利用券総使用枚数 586 枚

(2) 日常生活用具貸与事業

在宅生活を送るために必要な電動ベッド等の福祉機器を、無償で原則2週間を限度に貸出を実施

- ・貸出件数 0件

5. 地域福祉の推進

(1) 砂川市小地域ネットワーク活動推進事業

1) 町内会福祉部設置町内会への活動助成金交付 (77町内会)

2) 町内会福祉部活動報告書の作成並びに配付

3) 町内会福祉活動研修会の開催〔砂川市町内会連合会共催事業〕

町内会福祉活動を推進するため、町内会への情報提供と共有を目的に開催。

- ・開催日 3月8日

- ・場 所 福祉センター

- ・参加者 174名

- ・内 容 報告「災害ボランティアセンター派遣活動報告」

砂川市社会福祉協議会事務局長 阿部宏明

講話「被災したことであらためて気づいたこと」

むかわ町社会福祉協議会主任 福井真由美氏

4) 福祉活動に関する相談受付並びに対応

5) 町内会会議等への活動支援・情報提供

- ・7月13日 新町町内会いきいきサロン「レクリエーション指導」〔中村係長〕(再掲)

- ・10月27日 新日の出町内会福祉交流会「レクリエーション指導」〔中村係長〕(再掲)

6) 関係機関と連携による町内会活動の推進・支援

(2) ふれあい・いきいきサロン事業

福祉センターをはじめ地域の会館等を利用して、高齢者の健康づくりや閉じこもり予防等を目的に、介護予防運動やレクリエーションを実施。

1) 「いきいき広場」の開催〔総合事業；通所型Bサービス対応〕

- ・対象者 65歳以上の方

- ・日 時 毎月0・5の付く日の午前10時～正午〔土日・祝日等の場合は休み〕

- ・場 所 福祉センター

- ・開催状況

月	開催回数	参加延べ人数	ボランティア延べ人数	運動推進員延べ人数	総数
4月	4	77	27	5	109
5月	4	71	26	5	102
6月	4	65	23	5	93
7月	5	80	29	5	114
8月	3	54	18	4	76
9月	4	61	21	5	87

10月	5	92	31	4	127
11月	4	69	30	3	102
12月	4	83	33	5	121
1月	4	57	29	5	91
2月	4	66	27	5	98
3月	4	73	31	5	109
計	49	848	325	56	1,229

2) 「いきいき広場」ボランティア交流会の開催（毎月）

3) 事業協力機関・団体との連携

ふれあいセンター及びいきいき運動推進員、婦人ボランティアクラブ

4) 地域で取組まれているサロン活動の推進・支援

①市内開催サロン〔10か所〕

- ・空知太地区「しあわせ広場」への支援（そらっぷセンター）
- ・北光団地町内会「集いの広場」への支援（北光老人憩の家）
- ・晴見地区「ニコニコ広場」への支援（東地区コミセン）
- ・南地区「ひまわりサロン」への支援（南地区コミセン）
- ・吉野地区「南吉野いきいき体操」への支援（南吉野老人憩の家）
- ・ゆう「いきいきサロン」への支援（地域交流センターゆう）
- ・あかね団地町内会「あかねサロン」（そらっぷセンター）
- ・豊栄町内会「介護予防教室」（豊栄会館）
- ・空知太第5・すみれ町内会、空知太睦老人クラブ協働開催「地域健康運動教室」（空知太老人憩の家）
- ・緑ヶ丘「ななかまどの会」（緑ヶ丘会館）

②推進・支援内容

レクリエーションの実施及び用品等の貸出、各種相談等

5) サロン活動の地域展開に向けた取組支援

(3) 高齢者情報提供事業

市から提供される65歳以上の方の情報（名簿）を町内会等への提供を行った。

- ・提供内容 氏名・年齢・性別・住所、本人が同意した個人情報
- ・利用数 60町内会・2自治会

(4) 社協出前講座の実施

1) 出前講座の実施 7団体で10回実施（詳細は、P4参照）

(5) 地域活動団体支援

- 1) 砂川市町内会連合会への事務支援・助成
- 2) その他団体への支援

6. 介護保険関係事業の推進

(1) 指定居宅介護支援事業

1) ケアプランの作成件数

月	件数	介護区分				
		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	19	11	6	2	0	0
5月	19	10	6	3	0	0
6月	19	10	6	3	0	0
7月	19	8	8	3	0	0
8月	18	8	9	1	0	0
9月	19	7	9	2	1	0
10月	18	7	9	2	0	0
11月	18	7	9	1	1	0
12月	16	6	9	1	0	0
1月	15	6	7	2	0	0
2月	15	6	6	3	0	0
3月	14	7	5	2	0	0
計	209	93	89	25	2	0

2) ケアマネ連携会議、地域ケア会議、認知症多職種事例検討会等市内各会議・研修会へ参加したほか、介護保険制度・資格に関する研修会へ参加した。

①介護保険制度・資格に関する研修会への参加

- ・12月19～20日、1月22～24日、2月15～16日（7日間） 札幌市 主任ケアマネ更新研修〔中村係長出席〕

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の実施

1) 訪問型Bサービス〔市民ふれあいサービス〕

- ・派遣回数及び時間 145回 145時間

2) 通所型Bサービス〔いきいき広場〕（再掲）

- ・開催回数 49回
- ・延利用者数 848名
- ・ボランティア協力人数 325名
- ・運動推進員協力人数 56名

3) 介護予防・生活支援ボランティア養成講座の開催

ボランティアの発掘と育成を目的に研修会を開催。

- ・開催日 2月14、21、28日（3日間）
- ・場 所 福祉センター
- ・参加者 21名
- ・内 容 〔1日目〕

説明①「介護予防・日常生活支援総合事業とは」

砂川市保健福祉部介護福祉課課長補佐 作田哲也氏

講義①「ボランティアの心構え」

赤平市社会福祉協議会生活支援コーディネーター 黒坂順子氏

実践発表①「ボランティア活動を通して～活動者の声～」

市民ふれあいサービス提供会員 岡 輝子氏

いきいき広場ボランティア 浦野信子氏

〔2日目〕

講義②「高齢者の“こころ”と“からだ”」

実技①「安心して移動するために～移動介助～」

NPO 法人北海道総合福祉研究センター事務局長 池田ひろみ氏

〔3日目〕

講義③「認知症への正しい理解」

講義④「相手の心へ寄り添うために～傾聴の心構えと手法～」

NPO 法人北海道総合福祉研究センター事務局長 池田ひろみ氏

(3) 生活支援体制整備事業（市受託事業）

1) 生活支援コーディネーター1名を配置し、住民と一緒に身近な支え合いづくりや地域の諸課題を解決するための関係機関とのネットワークづくりを行った。

①高齢者の外出・社会参加に関する意識調査の実施

- ・対 象 65歳以上の市民1,000名を無作為に抽出し、郵送による調査
- ・実施期間 8月2日～24日
- ・回 答 数 610人（回答率61.0%）

②新規サロン立上げ支援への取組み

③協議体・関係機関向け研修会の開催

- ・開催日 2月12日
- ・場 所 福祉センター
- ・参加者 44名
- ・内 容 「生活支援体制整備事業の意義と生活支援コーディネーター・協議体の役割」

公益財団法人さわやか福祉財団ふれあい推進事業担当リーダー 翁川由希氏

④協議体との情報共有・連携

ア. 砂川市生活支援体制整備事業推進協議会の開催

- ・第1回 7月27日 福祉センター
〔高齢者の外出・社会参加に関する意識調査の実施について〕
- ・第2回 11月8日 福祉センター
〔意識調査結果並びに課題分析について〕
- ・第3回 1月28日 福祉センター
〔意識調査結果による地域課題の抽出、協議体等向け研修会の開催について〕

7. 権利擁護事業の推進

(1) 成年後見支援センター事業（市受託事業）

1) 総合相談・利用者支援

①相談件数 31件

(相談者内訳；関係機関23件、本人及び親族6件、その他2件)

(相談内容内訳；法定後見14件、本人及び親族申立3件、市長申立4件、財産管理及び福祉契約等13件、社協事業19件、その他6件 ※重複あり)

②市長申立に関する手続き支援 4件

2) 広報及び啓発活動

・市広報誌及び社協だよりにセンターの記事を掲載。

・5月23日 ケア・カフェすながわ実行委員会「お金に係る福祉制度等」[工藤主任](再掲)

・8月2日 北海道労働金庫砂川出張所「成年後見制度について」[工藤主任](再掲)

3) 市民後見人の養成

①市民後見人養成講座の開催(兼フォローアップ研修)

・開催期間 平成30年10月13日～平成31年1月12日(土曜日開催)

[11日間；48時間]

・場 所 福祉センター

・参加者 11名(他フォローアップ参加者3名)

②市民後見人候補者の登録、受任調整及び市民後見人等への活動支援(実績なし)

4) 関係機関・団体との連携及び調整

5) 運営委員会及び審議会の設置及び運営

①運営委員会

第1回 5月17日 福祉センター

[平成29年度事業報告、平成29年度第5回運営委員会で出された意見回答、市民後見人養成講座の開催内容検討]

第2回 7月12日 福祉センター

[第1回運営委員会で出された意見回答、市民後見人養成講座開催内容検討]

第3回 11月8日 福祉センター

[市民後見人養成講座開催状況報告、市民後見人の活用方法と次年度事業の考え方]

第4回 1月24日 福祉センター

[市民後見人養成講座開催報告、後見支援センター事業経過報告、新年度事業計画案、権利擁護体制に関する意見]

②審議会<今年度開催なし>

(2) 日常生活自立支援事業(道社協一部受託事業)

1) 日常生活自立支援事業取扱状況

①30年度末取扱件数 26件(契約前支援7件含む)

(契約状況；過年度継続件数16件、当年度新規件数4件、当年度契約解除件数1件)

②生活支援員登録者数 23名(職員4名含む)

③道社協地域福祉生活支援センター及び生活支援員、関係機関との連絡調整(適宜)

2) 砂川市生活支援員連絡会議の開催

- ・開催日 4月20日
- ・場 所 福祉センター
- ・参加者 11名
- ・内 容 日常生活自立支援事業の実例をもとに、演習と事例検討

砂川市社会福祉協議会主任 工藤真史

(3) 金銭管理等支援事業

1) 金銭管理等支援事業取扱状況

①30年度末取扱件数 16件 (契約前支援4件含む)

(契約状況；過年度継続件数9件、当年度新規件数6件、当年度契約解除件数3件)

(4) 法人後見事業の取組み

運営委員会でも協議を重ね、成年後見制度を取り巻く社会情勢、また、市民後見人養成講座受講修了者の活躍の場としても、社協が法人後見に取り組む意義は大きいと考え、令和元年度から事業を実施することとした。

(5) その他関連事業等

①砂川市高齢者及び障害者虐待防止連絡協議会への参画〔阿部局長出席〕

②虐待防止支援チーム会議への参画

8. 低所得者福祉の推進

(1) 生活困窮相談

1) 相談件数 32件

(2) 生活福祉資金貸付事業 (道社協一部事務受託事業)

1) 生活福祉資金取扱状況

①30年度末取扱件数 12件

(貸付内訳；生活福祉資金9件、総合支援資金2件、臨時特例つなぎ資金1件)

[当年度新規貸付件数2件、当年度償還完了等件数3件]

2) 各資金督促通知、償還指導の実施及び民生委員との連携〔適時〕

(3) 生活資金貸付事業

1) 生活資金取扱状況

①30年度末取扱件数 2件

[過年度貸付繰越件数2件、当年度新規貸付件数8件、当年度償還完了件数8件]

2) 各資金督促通知、償還指導の実施〔適時〕

(4) 年末見舞金贈呈事業

地域歳末たすけあい助成事業として、準要保護世帯に見舞金を贈呈

・見舞金贈呈世帯数 100世帯 (砂川市民生児童委員協議会の協力により実施)

(5) 生活困窮者等に対する安心サポート事業

北海道社会福祉協議会が取り組んでいる生活困窮者支援事業への参画について、他市町村社協での取り組みの効果等を踏まえ、継続検討とした。

9. ボランティア活動の振興

(1) 砂川市ボランティアセンターの設置・運営

1) ボランティアコーディネーターの配置

ボランティアコーディネーターを1名配置し、ボランティア活動に関する相談、受給・連絡調整を図り、ボランティア活動の振興に努めた。

2) ボランティア活動相談 3件

3) 愛の小箱募金箱の設置 7か所〔平成30年度末〕(再掲)

○設置場所；第一興産、いこい理容室、地域交流センター、らー麵さつき家、ナカヤ菓子店、くるみ会、福祉センター

○寄附件数・金額 2件 10,213円

4) 各ボランティア団体等へのボランティア情報誌及び各種研修会等の案内送付(適宜)

(2) 福祉活動関係保険の取り扱い

①ボランティア活動保険 28件

②ボランティア行事用保険 8件

③社協の保険 1件(再掲)

④ふれあいサロン・社協行事傷害補償 1件

⑤在宅福祉サービス補償 1件

(3) 「福祉の学習」の推進

1) 学童・生徒のボランティア活動普及事業

①ボランティア協力校活動助成〔市内小中高全校；8校〕

②総合学習等への協力(再掲)

・11月28、12月7日 中央小4年生福祉授業「講義・車いす体験」

〔中村係長・天坂職員〕

・2月7・19日 豊沼小4年生福祉授業「講義・車いす体験」

〔中村係長・天坂職員〕

・2月27日、3月6日 空知太小4年生福祉授業「講義・車いす体験」

〔中村係長・天坂職員〕

2) 学生ボランティア体験事業「すながわWAI・WAIキャンプ」の開催

高校生を対象に老人福祉施設において、ボランティア体験学習を実施。

①WAIWAIキャンプ2019冬バージョン

・開催日 1月8～9日〔2日間〕

・場 所 りんごの里(3施設)

・参加者 1名

・内 容 〔1日目〕

- お話し①「ボランティアの心構え」
 お話し②「『福祉』とは、ひとりひとりを大切にすること」
 お話し③「人を大切にするコミュニケーション」
 お話し④「『認知症』について正しく理解するために」～明日のデイサービスセンター訪問のための心構え～

〔2日目〕

デイサービス一日ボランティア体験

NPO 法人北海道総合福祉研究センター事務局長 池田ひろみ氏

3) 教育委員会等関係機関・団体との連携

(4) 住民参加型在宅福祉サービス〔総合事業；訪問型Bサービス対応〕

住民参加型在宅福祉サービス「すながわ市民ふれあいサービス事業」を実施。

1) 30年度末会員登録状況

- ・提供会員数 31名 ・利用会員数 33名

2) 活動状況

○派遣回数及び時間

区分	家事援助	通院・外出 援助	その他	総合事業 (再掲)	合計
派遣回数	383	35	9	145	572
派遣時間	441.5	85.0	9.5	145.0	681.0

3) 広報事業

- ・社協だよりNo.167(7月号)、No.168(9月号)、No.170(3月号)

4) 提供会員研修会の開催

利用者により良いサービスが提供できるよう、提供会員の資質向上を目的に開催。

※介護予防・生活支援ボランティア養成講座として開催。

(5) 愛情銀行事業

1) 市民から預託された物品の有効活用を図る。

区分	使用済み切手	使用済みプリ ペイドカード	書き損じ葉書	ベルマーク	リングプル
件数	48	20	4	25	102
数量	11,751g	415枚	114枚	14,728.4点	260,952g
払出先	日本キリスト教 海外医療協力会	—	—	砂川天使幼稚 園父母の会	砂川市子ども センター

(6) ボランティア活動器材等貸出事業

1) 各種活動器材の貸出状況

- ①車椅子 17件 ②歩行器 0件 ③行商用大型テント 3件
 ④高齢者疑似体験セット 1件 ⑤レク用品 0件

(7) ボランティア育成・援助事業

- 1) ボランティアの発掘と育成を目的に研修会を開催。
※介護予防・生活支援ボランティア養成講座として開催。
- 2) ボランティア団体への支援
 - ①砂川市ボランティア連絡会への支援
 - ②砂川市婦人ボランティアクラブへの支援・助成（3月20日解散）
 - ③砂川手話の会への支援・助成
 - ④その他、ボランティア団体活動への支援
- 3) 各種研修会等の情報提供
研修会の案内、ボランティア情報の提供を行った。

(8) 除雪ボランティア活動

- 高齢者・障害者世帯等を対象に、ボランティア団体の協力による除雪活動を実施。
- ・登録団体数 9団体 ・実施団体数 8団体（協力人数；延200名）
 - ・実施世帯数 20世帯

(9) 災害ボランティア体制整備

災害時のボランティアの受入及び活動支援が迅速且つ円滑に行えるよう、災害ボランティアセンター運営マニュアルを作成した。

10. 障がい者福祉の推進

(1) 障がい者団体等への支援

- 1) 砂川身体障害者福祉協会への助成・各種情報提供
- 2) 砂川地区ことばを育てる親の会への助成・各種情報提供
- 3) 砂川市手をつなぐ育成会への助成・各種情報提供
- 4) 砂川希望父母の会への助成
- 5) 特定非営利法人つむぎの家への助成・各種情報提供
- 6) 特定非営利法人砂川つばさへの助成・各種情報提供
- 7) その他団体との連携・支援
 - ①地域生活支援センターぽぽろとの連携

(2) 障がい者支援事業の実施

- 1) 生活福祉資金貸付事業 0件（障がい者分抽出）
- 2) 日常生活自立支援事業 15件〔契約前含む〕（障がい者分抽出）
- 3) 金銭管理等支援事業 5件〔契約前含む〕（障がい者分抽出）
- 4) 成年後見制度に関する相談支援 12件（障がい者分抽出）
- 5) 砂川市高齢者及び障害者虐待防止連絡協議会への参画（再掲）
 - ・障害者虐待防止支援チーム会議への参画

1 1. 児童・青少年等福祉の推進

(1) 児童福祉団体等への支援

- 1) 砂川地区保護司会への支援
- 2) 砂川地区保護司会砂川分区への支援・助成
- 3) 砂川更生保護女性会への支援・助成・各種情報提供
- 4) 空知双葉里親会への助成
- 5) 砂川市青少年指導センターへの推進協力員の推薦

1 2. 共同募金運動の推進

(1) 砂川市共同募金委員会事業への協力

- 1) 砂川市共同募金委員会事務事業への全面協力・支援
 - ①社協全職員の共募事務局員委嘱
 - ②会務の運営
 - ③赤い羽根共同募金運動の実施 10月1日～12月31日
 - ④地域歳末たすけあい募金運動の実施 12月1日～12月31日
 - ⑤災害たすけあい募金の取扱い
北海道胆振東部地震義援金の他、12件の義援金の受付窓口を開設した。
 - ⑥赤い羽根「災害見舞金」の贈呈 3件（火災3件）
- 2) 社協役員の街頭募金・法人募金への参加協力

1 3. 総合相談の実施

(1) 砂川市心配ごと相談所の設置・運営

- 市民の抱える諸問題の相談窓口として、心配ごと相談所を開設。
- ・開設日時 毎週水曜日 午後1時～3時（祝日・年末年始を除く）
 - ・開設場所 福祉センター相談室
 - ・開設日数 51日
 - ・出席相談員数 延59名（うち民生児童委員20名）
 - ・相談取扱件数 3件

1 4. その他社会福祉事業の推進

(1) 生活簡素化運動

- 1) リサイクル即売会への共催（主催；砂川市物を大切にす運動推進協議会）
 - ・9月1日 福祉センター
- 2) 門松カードの発行（砂川市共同事業）
 - ・市と共同により年始用門松カードを発行し、全世帯へ配付。

(2) 遺家族等への支援

- 1) 砂川市遺族会への支援
- 2) 砂川市戦没者・殉職者慰霊祭実行委員会への参画
 - ・慰霊祭の実施 6月27日 福祉センター